

渡辺一成前会長 (十四回卒) ありがとうございました。

昨年八月六日にロイヤルホテル丸屋にて、平成二十八年年度同窓会総会が開かれました。総会にて、長年同窓会長を務められた渡辺一成さんの勇退と新同窓会長として杉昭重さん就任が提案され承認されました。渡辺前会長は長きにわたり同窓会を導き、東日本大震災という未曾有の危機の中でも、原町高校をしっかりと支えてこられました。渡辺前会長の挨拶を紹介いたします。



退任挨拶
前会長 渡辺一成

昨年八月の総会において会長職を後輩の杉昭重君へ引き継ぎました。平成十四年に門馬直孝先輩から引き継いで十四年間会長職を務めました。この間の同窓会員の皆様をはじめ当時の在校生や保護者の皆様から賜りましたご支援に心から感謝を申し上げます。平成二十一年の学校創立七十周年記念事業をはじめ様々なことがありましたが、忘れえない最大の出来事は

若い世代の同窓会

平成二十九年一月八日、六十回卒生が成人式を迎えました。前日七日には、原町区のステーションプラザホテルにおいて同窓会が開催され、百人ほどの参加者が集い旧交を温めました。当時の生徒会長・朝倉悠太さんからその様子と母校に対する思いをいただきました。

同じ学び舎で学び、育った仲間達と同窓会で久しぶりの再開。変わった人、あまり変わらない人、様々な人がいたけれど、根っこ部分はきっと変わっていないんだなと思える空間であった。皆で思い出話に花を咲かせていたあの空間はあの瞬間だけ

我が母校、原高そのものように思えた。そんな懐かしい空気を噛み締め、また次いつか会えるか分からない寂しさから、別れを惜しんだ。これから先、成人として社会に出る者となり、より一層の成長変化は必然であろうが、この原高だけはいつまでも変わらぬ、私達の帰って来る場所として存在して欲しい。また会える日まで。お元気で

朝倉悠太(六十七回卒)



同窓会総会にて挨拶する渡辺前会長

夏の高校野球県大会で全校生が開成山に集い一丸となつて応援できたのもそのお金があったからです。

いま本校は二年生四クラス百六十名という中規模校になりましたが、それでも震災前に負けない活気あふれる姿に感激しています。休校になった双葉郡の高校の想いも背負って躍進を続けてほしいと思います。原町高校と杉新会長の下の同窓会の益々のご発展を祈念し退任の挨拶とします。

支部だより

【東京支部総会】

～ふるさとの復興・発展を願って～

平成二十八年十月十日(月)祝に第三十三回原町高等学校同窓会東京支部総会・懇親会が、上野精養軒で開催されました。開催までの役員の方をねぎらうかのように多数(百六十三名予定)の方に出席して頂きました。今回は、同窓会本部事務局長草野圭二先生の教え子十三名の学生が出席し、総会・懇親会を盛り上げてくれました。

第一部の総会は川鍋裕夫氏(十七回卒)の司会で始まり、最初出席者全員でこの一年に亡くなられた方々への冥福を祈る黙祷をいたしました。次に、来賓の方、遠隔地からの方、避難されている方、新会員(学生)の紹介の後、紺野政弘(十二回卒)支部長の挨拶がありました。議事は、久米文二氏(十九回卒)からの活動報告、遠藤吉樹(二十四回卒)からの会計報告、遠藤栄氏(十六回卒)からの監査報告がありました。その後、来賓の方々の挨拶が続きました。現原高の佐川尚史校長、杉昭重現同窓会会長(二十二回卒)、渡辺一成前同窓会会長(十四回卒)の挨拶と続きました。最後に、草野圭二同窓会事務局長(二十九回卒)から原高の現状、生徒たちの進路、部活動等の活動についての報告があり、第一部が終了いたしました。

第二部の懇親会は、小沢一男(二十回卒)の司会から全出席者の紹介の後、古室理順(三回卒)の乾杯の後に懇談に入り、再会を喜び合う人、暫くぶりに合う友人、先輩、後輩達と尽きない話題で、時のたつのも忘れ盛り上がりしました。宴も闌になったところで、門馬昭氏(十六回卒)の尺八、只野廣美氏の

三味線、門馬のみ子氏の囃子方により、相馬清志氏(湊清一十一回卒)の相馬民謡、相馬氏リードによる全員参加の盆踊り、若い同窓生のリードによる校歌の大合唱、会場は最高の盛り上がりを見せました。最後に、西内利幸事務局(十九回卒)から「ふるさとの復興・発展」を祈りつつ、閉会の挨拶、三時間に及ぶ懇親会・懇親会の幕を閉じました。次回の第三十四回総会は、平成二十九年十月九日(月)祝に上野精養軒(上野公園内)で正午より開催する予定です。

渡辺光貴さん(五十二回卒) 首相の施政方針演説に取り上げられる

平成二十九年一月二十日、第百九十三回国会における安倍内閣総理大臣施政方針演説にて本校の同窓生である渡辺光貴さんが取り上げられました。安倍首相は、平成二十八年十二月十日に常磐線浜吉田、相馬間の運転再開式典に来県し、渡辺さんが勤務する(株)タカワ精密を訪問しました。

福島県知事、桜井勝延南相馬市長(二十六回卒)も臨席した地域の製造業、観光業関係者等の車座での意見交換会が行われ、渡辺さんの「南相馬が『ロボットの町』と言われるよう、若い力で頑張る。』という熱意あふれる言葉が首相の印象に強く残り、施政方針演説に取り上げられたのです。

現在、南相馬市では福島国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想のロボットテック・ストリート、国際産学官協同利用施設の整備が進められています。災害対応、廃炉対策ロボットの研究をはじめとして、浜通りのロボット産業の発展

母校近況

公開文化祭「柏曜祭」開催

九月十日十一日と二年一度の公開文化祭「第二十一回柏曜祭」が行われました。震災後二回目となる柏曜祭のテーマは「輪く輝く瞬間」。車輪は一つでも欠けたら成り立たない。チームも学校も同じで全員で同じ高みを目指すという意味が込められています。初日の仮装行列、翌日の一般公開と、各クラス、生徒会、文化部、そしてPTAの皆さんが文化祭を盛り上げました。



ポスターにも用いられた全校生による「輪」の写真です。

渡辺さんが取り上げられた施政方針演説は首相官邸のサイトにて閲覧が可能です。



渡辺さんが取り上げられた施政方針演説は首相官邸のサイトにて閲覧が可能です。